



10

10/01-10/31
Cincinnati University

STUDY

勉学の状況

1. Design Visualization 2

- Consumer kitchen product
- Reflection
- Curved Block & figure revolution
- Explode view

Consumer kitchen product の課題ではオーブントースターのデザインに取り掛かりました。アイデアスケッチをして最後にデジタルレンダリングをしました。

Reflection の課題では手書きで反射の構造を理解し、最後にプロダクトを反射を使ってレンダリングしました。

Curved Block & figure revolution の課題では曲線が使われた物を練習としてデジタルレンダリングしました。

Explode view の課題ではペンを分解してアイソメトリックで表現する練習をしました。

2. Design Technology 2

Fusion360 を使って容器やおもちゃを作りました。Fusion360 における様々なツールや作り方の方法を学びました。

3. Product Design Studio 2

調査段階が終わり、リデザインするパッケージが Nicorette というニコチン入りガムに決まりました。ペルソナやイメージボードを設

定してアイデアスケッチをし、プレゼンテーションをしました。

4. Product Design Communication 2

- UI-UX
- Vector Orthographic Rendering

UI-UX の課題ではタッチパネル付きのプロダクトを対象にそのインターフェースをデザインしました。私は過去の自分の作品を選び、そのインターフェースをリデザインしました。最後に Adobe XD を用いて動くプロトタイプを作り、テストをしました。

Vector Orthographic Rendering の課題では服やバックや靴など柔らかい素材を使ったプロダクトを選び、illustrator と photoshop を使ってレンダリングする方法を学びました。

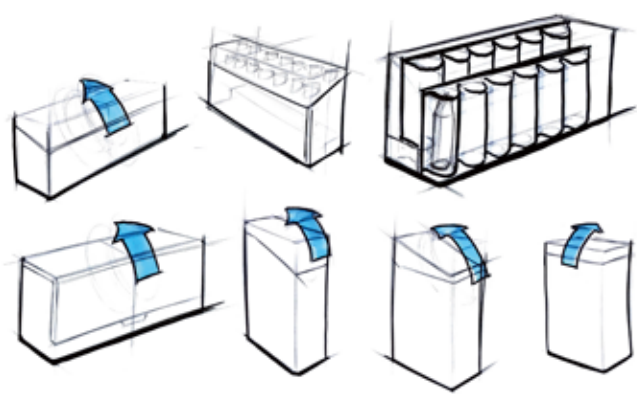
1. Design Visualization 2

Some sketches and rendering



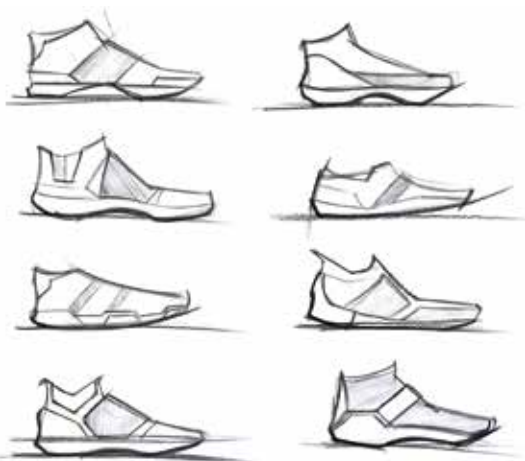
2. Product Design Studio 2

Some sketches and presentation photo



3. Product Design Communication 2

Some sketches and rendering





LIFE

生活の状況

Cincinnati Symphony Orchestra について

シンシナティ大学院の音楽科に通っている日本人から誘ってもらったので、休日にシンシナティ交響楽団の演奏を見てきました。まるで「のだめカンタービレ」で見たような景色でした。ミュージックホールは社交の場となっており、ワインを片手に持った年配の方々がいたところで雑談をしていました。プログラムは「ドンキ・ホーテ」の三本立てでした。やはりクラシックは私には難しかったです。音大生の彼は一度ボストンで今回の指揮者のオーケストラで演奏したことがあるようで、色々解説してもらいました。演奏が終わり、彼は知り合いの演奏者の出待ちをするので、お別れしました。コネクションを増やすことで色々チャンスが回ってくるということです。音楽業界の厳しさと共に、彼の熱意も感じ、そして音大生の日常を少し知れて良かったです。



Professor について

右上の写真の人は Design Visualization の先生で日系アメリカ人です。Design Visualization では四人の先生それぞれでクラスが分かれますが、一番厳しい先生とされています。しかし生徒たちからはとても慕われています。この写真は、先生のことを一番慕っている学生がレーザー印刷して教室に貼っていたものです。先生は学生時代毎日4時間しか寝ていなかったらしく、このクラスの学生も多くが夜中まで残って課題をしています。

また、先生には2回ほどアメリカの美味しいお食事屋さん連れて行ってもらいました。

右下の写真は Product Design

Communication の先生でハロウィンの日にBGM付きで登場してくれました。先生が一番はりきっていました。私がハロウィンを感じたのはこれくらいです。四年生のクラスはとて落ち着いていて、変装してきたのは2、3人くらいでした。

